

第65回 中国・四国地区高等学校

大会テーマ

「集まれば ころろはればれ 晴れの国」

～「集まる」「話す」の大切さ再発見～

日時 令和5年7月14日（金） 9：45～16：00

会場 倉敷市民会館 ホール

受付 9：00～9：45

開会行事 9：45～10：25

◆ 総合司会 岡山県立倉敷青陵高等学校PTA会長 小川 灯

- 1 国歌斉唱
- 2 あいさつ
中国・四国地区高等学校PTA連合会会長 菊地 潤
一般社団法人全国高等学校PTA連合会会長 山田 博章
岡山県教育委員会教育長 鍵本 芳明
- 3 祝辞
岡山県知事 伊原木 隆太
倉敷市長 伊東 香織
- 4 来賓紹介

講演 10：30～12：00

演題 「倉敷から始める家族旅」

講師 作家・写真家・建築家 稲葉なおと 氏

昼食 12：00～13：00

PTA連合会大会 岡山大会要項

高校生 による 活動発表

13:00～14:00

◆ 倉敷市内3校による課題解決型学習（PBL）の発表

- 「ワッショイ！とーかーず」 岡山県立倉敷古城池高等学校
- 「倉商 de キャッチ 倉商PBL」 岡山県立倉敷商業高等学校
- 「岡山の伝統文化の継承と新たな文化の構築」 倉敷翠松高等学校
～岡山県産抹茶で地域活性化、白石踊800年の歴史～

研究協議

14:10～15:40

- ◆ 議長団 高知県高等学校PTA連合会副会長 都 築 靖 正
岡山県高等学校PTA連合会副会長 光 岡 宏 文

発表者

- <広島県> 仲間とともに「不撓不屈」でのりこえろ！！
～コロナ禍学校とPTAの初挑戦への軌跡～
広島県立広島皆実高等学校PTA会長 杠 基
- <徳島県> 地域に愛される学校 ともに挑んだ10年
～再編統合から10周年を迎えて～
徳島県立吉野川高等学校PTA顧問 瀬 尾 陽 子
- <岡山県> 運営の充実と協力体制により、生徒の学びを支える
～キャリアの学び・グローバルな学び～
岡山県立倉敷南高等学校前PTA会長 田 野 美 佐

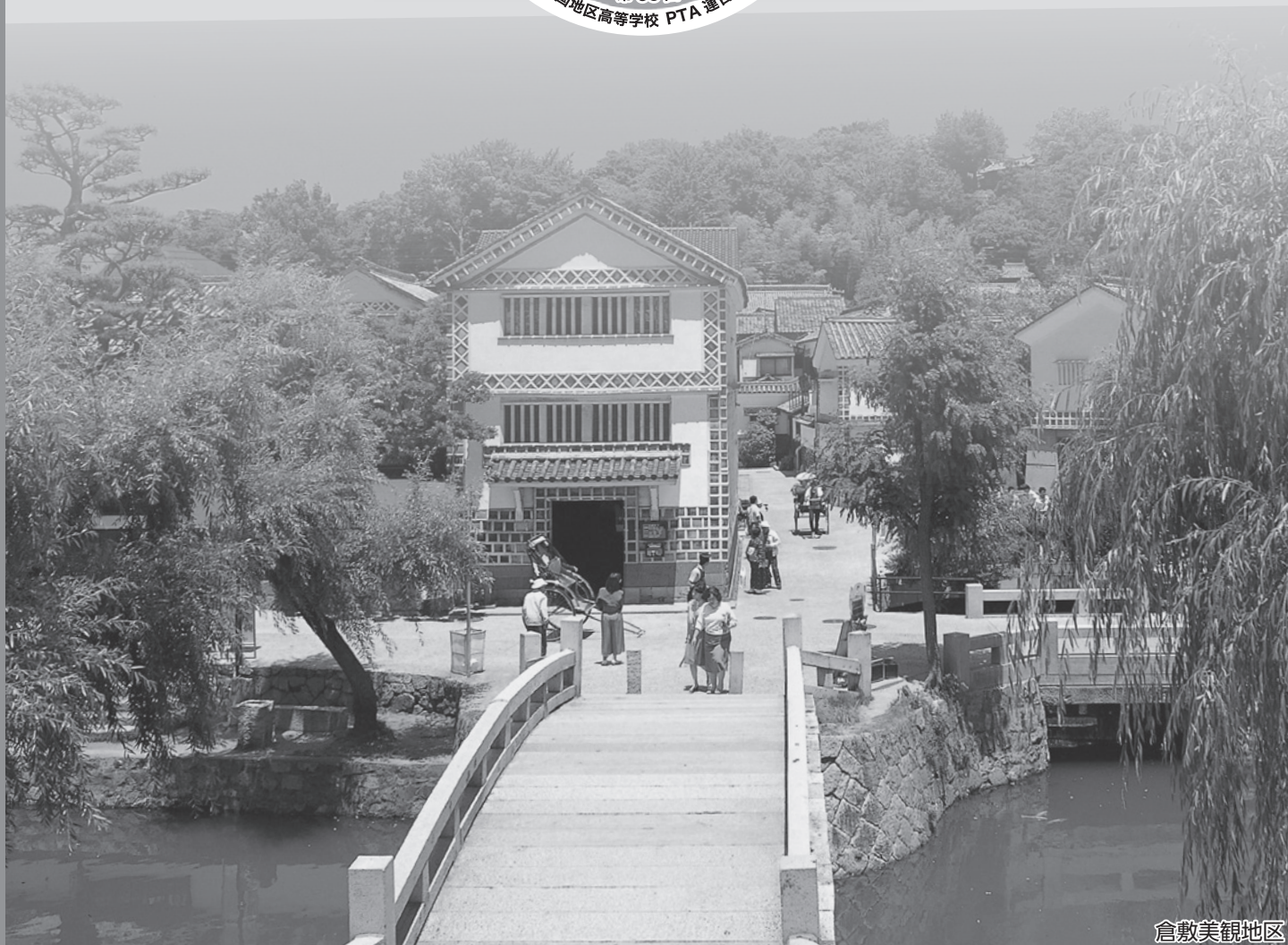
閉会行事

15:45～16:00

あいさつ

- 中国・四国地区高等学校PTA連合会会長 菊 地 潤
- 高知県高等学校PTA連合会会長 佐 竹 大 樹

| 開会行事 |



挨拶



第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会実行委員長
岡山県高等学校PTA連合会会長

菊地 潤

皆さま、おはようございます。本日は第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会岡山大会に中国・四国9県より約1200名の皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございます。

また、公務ご多忙の中ご臨席賜りました、岡山県副知事 横田有次さま、倉敷副市長 生水哲男さま、岡山県高等学校長協会副会長 藤岡隆幸さまには心よりお礼申し上げます。

改めまして晴れの国岡山へようこそ。よう来んちゃったな。少し岡山県の紹介をさせていただきます。まず、こちらの会場がある倉敷について、ここ倉敷は国産ジーンズ発祥の地と言われ、およそ30ものジーンズショップが軒を連ねるジーンズの聖地と呼ばれております、児島ジーンズストリートがあります。ぜひ行かれて好みのジーンズがあるか探してみてくださいと思います。

倉敷美観地区では白壁の蔵屋敷、なまこ壁、柳並木の美しい景観が楽しめます。会場近くの大原美術館においては世界の至宝ともいえる美術品が多数展示されており、岡山に来られた際には、ぜひ訪れていただきたい場所の一つです。食べ物では瀬戸内海の新鮮な海の幸、フルーツも有名で、これからのシーズンであれば清水白桃やシャインマスカットなど絶品です。また、B級グルメと言われております牡蠣が入った日生カキオコ、えびめし、デミカツ丼、津山ホルモンうどんと、一度は味わっていただきたい物ばかりです。

桃太郎由縁の神社吉備津神社や天空の山城で現存12天守の一つ備中松山城など、歴史と文化の町で

もあります。本日お配りしております資料の中に「晴れの国おかやま旅まっぷ」という物があります。ぜひ、こちらを見ていただいて、せっかく岡山に来ていただいておりますので、大会が終わった後には皆さまに岡山県を十分堪能して帰っていただければ幸いです。

さて、本大会は中国・四国地区高等学校PTAの皆さまが一堂に会し、教育の振興や子どもたちの健全育成、PTA活動の推進について研究協議することを目的としております。近年ではコロナ禍もあり、このように皆さまにお集まりいただき大会を行うこと自体が難しい状況が続いておりました。大会のテーマ「集まれば ころろはればれ 晴れの国」～「集まる」「話す」の大切さ再発見～。皆さまと実際にお会いし、高校生の発表、各校PTAの取り組みや工夫を共有し、新たなヒントや気づきを得ることができればと思っております。

それでは本日のプログラムをご紹介します。開会行事の後、10時30分から紀行作家の稲葉なおとさんに「倉敷から始まる家族旅」との演題でご講演をいただきます。紀行作家、一級建築士・写真家としてご活躍されており多くの著書も出版されております。豊富な知識と経験をお持ちの稲葉なおとさんの講演にご期待ください。

昼食時には高松農業高校、興陽高校、倉敷商業高校、倉敷鷺羽高校、市立玉島高校、玉島商業高校の生徒たちによる生産物・企業とコラボした商品の販売があります。ぜひ生徒の日頃の成果をご覧ください、たくさんご購入いただければと思います。また、講師の稲葉なおとさんによる著書のサイン販売もごぞいます。

続きまして13時からは倉敷市内高校生による活動発表があります。課題解決型学習は文部科学省が推奨しているアクティブラーニングの一つで、生徒自ら問題を見つけその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習方法で、生きる力を身に付ける学習発表です。

続いて14時10分から研究協議を行います。最初は広島県立広島皆実高等学校PTAによる「仲間と共に『不撓不屈』でのりこえろ!!」～コロナ禍学校とPTAの初挑戦への軌跡～。続いて徳島県立吉野川高等学校PTAによる「地域に愛される学校 ともに挑んだ10年」～再編統合から10周年を迎えて～。最後に岡山県立倉敷南高等学校PTAによる「運営の充実と協力体制により、生徒の学びを支える」～キャリアの学び・グローバルな学び～を発表していただきます。本日のために時間をかけて準備をしていただきました。各学校の取り組みを参考に、今後のPTA活動に役立てていただければと思います。

結びに、この大会が皆さまにとって笑顔に満ちた楽しい学びのひとつとなりますよう祈念して、歓迎のごあいさつとさせていただきます。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

挨拶



一般社団法人全国高等学校PTA連合会
会 長

山田博章

岡山県、そして中国・四国地区の皆さん、おはようございます。ただ今、ご紹介に与りました、今年度、全国高等学校PTA連合会の会長をさせていただきます山田と申します。所属は近畿の和歌山です。日頃は、PTA活動に際しまして、ご理解とご協力を賜り、高い所からではございますが、心より御礼申し上げます。また、岡山県副知事の横田さまをはじめ、ご来賓の皆さま方におかれましては、公私共にご多忙の中、ご臨席を賜り、重ね重ね御礼申し上げます。ありがとうございます。

まずは、先日来からの記録的な豪雨によりまして被災をされた方々におかれましては、謹んでお見舞いを申し上げます。また、本日、第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会岡山大会が、ここ倉敷市におきまして、岡山県高等学校PTA連合会主催の下、中国・四国地区9県の各地からご参集され盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

さて、私の手元には、いつもこのお守りがあります。表には、この「志」の1文字があるのですが、これを見て何か分かる方はいらっしゃいますでしょうか？もし、見たことがある方がいらっしゃいましたら、大きな声で「はい」と挙手いただきたいのですが、誰かいらっしゃいます？「いらっしゃらない」、はい、ありがとうございます。これをご存じでしたら10年ほど高等学校PTA連合会、PTAに携わられてこられた方と拝察申し上げますが、これは裏に第63回全国高等学校PTA連合会大会山口大会2013と書いてあります。実は、この2013年の前年に全国大会が和歌山でございまして、その和歌山大会のときに私の単P会長のデビューの年でもありました。

その翌年、この山口大会において、わが単Pが表彰してもらえるということで、私はその単PのPTAの会員の皆さんに向けて、「これは私が表彰してもらうのではなくて、今までの皆さんの活動に対して頂ける賞なので、皆さんを代表して私が賞状を頂いてきます」ということで、この山口大会に参加をさせていただきました。そのときに何か記念になる物と思い、このお守りを購入させていただいたのです。その後、和歌山県連の会長をさせていただき、また、全国の連合会の役職にも名を連

ねることになり、年を重ねるごとに立場を替えて、視点を変え、今回は全国の会長として感慨深く、また時代の流れを感じつつ、この大会に参加をさせていただいております。

さて、振り返りますと、2020年の年初に突如表れた新型コロナウイルス感染症という得体の知れないウイルスに振り回され、世界的にパンデミックに陥り、日本では東京オリンピック・パラリンピック2020が1年延期となり、そして密閉・密集・密接の3密を避け、ソーシャルディスタンスを取り、食事の際には黙食というように、今までになかった単語が飛び交うようになりました。それらの影響で、子どもたちは言うまでもなく、私たち保護者にとりまして、今まで当たり前のように行ってきた活動が、さまざまな方面で制約・制限を余儀なくされたことにより、PTA活動の取り組み方や、関わり方を改めて考える一つの契機となったのではないのでしょうか。

そのような中で、本大会に掲げられております『集まれば ころはればれ 晴れの国。～「集まる」「話す」の大切さ再発見』というテーマは誠に時宜を得たものであり、コロナ禍で失いつつあった、共に集い、対面にて話し合うという、人としての基本的なコミュニケーションの大切さを謳っていると思います。それを踏まえて私たち保護者は、未来ある子どもたちが将来の夢に向かって羽ばたこうとするのを、どのようにバックアップし、その可能性を最大限に引き出し、実現へと導いていけるかを、共に考える良い機会ではないのでしょうか。

とはいえ、オンライン授業やデジタル教材、タブレット端末等を駆使した、今日のいわゆるギガスクール構想は、私たち保護者の世代には全く無縁であったもので、それらがもたらす利便性と引き換えに、新たに多くの課題を抱え込み、理解と探求が求められているというのが実情かもしれません。そのように目まぐるしく変わりゆく中で唯一変わらないもの、それは親の子どもに対する愛情であると信じて、今までは、このようにしていたからという古い観念に捉われるのではなく、現状はこうだから、このような対応・活動していくといったような、今後を見据えた持続可能なPTA活動の実践が必要であると考えております。コロナ禍が加速させたともいわれる環境の変化に臨機応変に順応・対応した活動こそが、やがて日本の未来を担うグローバルな視野を持った心豊かな人材を育むことにつながるはずです。

本大会が対面で通常開催されるに当たり、関係者の皆さま方の感慨もひとしおかと思っております。パソコンやスマートフォン等の画面を通じてのオンラインではなく、リアルに顔を合わせ対話できることの大切さを実感しつつ、中国・四国地区の各地から、さまざまな形でご参集の皆さま方が一堂に会し、共に学び合いながら研鑽を積んでいただき、多くの情報共有と気づきを得て、明日からのPTA活動の参考になることを祈念申し上げます。

最後になりましたが、本大会を開催するに当たりまして、ご尽力をいただきました、岡山県高等学校PTA連合会をはじめ、ご後援いただきました岡山県や倉敷市、そして、各教育委員会や高等学校長協会、また、協賛をいただきました全ての皆さま方にお礼を申し上げますとともに、今後とも、より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

挨拶



岡山県教育庁生涯学習課
副課長

竹林京子

皆さん、おはようございます。岡山県教育庁生涯学習課副課長の竹林でございます。本来なら、鍵本教育長が皆さま方にごあいさつすべきところではございますが、用務のため出席できず、代わりに教育長からのあいさつを預かってまいりましたので、代読させていただきます。

第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会岡山大会の開催に当たりまして、一言、ごあいさつ申し上げます。本日は、中国・四国地区、各地から約1,200名もの高等学校PTAの皆さまのご参加をいただき、ありがとうございます。岡山によろこそお越しくございました、心より歓迎を申し上げます。皆さま方におかれましては、平素から、各校において熱意と愛情をもって積極的にPTA活動を推進され、次代を担う子どもたちの健全な育成のために、ご尽力を賜っておりますことに対し、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、岡山県教育委員会では、子どもたちの学びの原動力である「夢」を育む教育として「夢育」を推進しております。子どもたちは多様な体験や多くの人との出会いの中で、たとえ小さな「夢」で

も、自ら進んで「やってみたい」「そうになりたい」と思えることを見つけることができれば、その実現に向けて意欲を持ち、また取組を進める中で「自信」を持つことができると考えております。そのために、われわれ大人ができることは、子どもたちに多様な経験ができる機会をつくること、さまざまな魅力あふれる人々と出会う場を作ること、そして、「夢」の実現に向けて伴走することと考えております。

現在、岡山県の高校では、生徒たちは総合的な探究の時間を中心に、PBL（課題解決型学習）において「夢」の実現に取り組んでいます。課題解決的な学びを通して、生徒たちが授業で学んだことを、相互に関連づけながら活用していく力を身に付けるとともに、生徒、一人一人が自己決定していく経験を重ね、自ら設定した課題を、周りの友人や多様な人々と協働して解決する力を育むことを目指しております。そんな生徒たちの挑戦を、地域、大学、企業、そしてPTAの皆さま方が伴走者として支えてくださっています。本大会におきましては、こうした県内・県外の実践をご発表いただき、積極的に研究協議や情報交換いただくことで、高校教育の振興、高校生の健全育成、PTA活動の充実、発展につなげていただけるものと期待しております。

終わりにになりましたが、中国・四国地区高等学校PTA連合会の益々のご発展と、ご参加いただきました皆さま方の、益々のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、ごあいさついたします。

令和5年7月14日 岡山県教育長 鍵本芳明、代読でございます。

祝 辞



岡山県副知事

横田 有次

皆さん、こんにちは。岡山県副知事の横田でございます。伊原木岡山県知事に所用がございまして、私が歓迎のごあいさつをさせていただきます。本日、中国・四国地区高等学校PTA連合会大会岡山大会が、このように多くの皆さま方の参加の下で開催されますことを、心からお喜び申し上げます。また、皆さま方には、ようこそ、ここ岡山・倉敷においでいただきました。おもてなしの心と笑顔をもって、お迎えしたいと思います。また、皆さま方、日頃から青少年の健全育成、高校教育の充実にご尽力をいただいております、心より敬意を表させていただきます。今日1日、先ほどプログラムを見させていただきますと充実したものが並んでおり、どうぞ楽しんでいただけたらと思います。

近年は、子どもや家庭、地域社会、さまざまな課題がございます。子どもは地域の宝と考えておりまして、社会全体で子育てを支援することが大切です。そのため、学校や園、家庭、地域、いろいろな場面で、そうした皆さま方の連携が求められていると思います。皆さま方におかれましては、青少年の健全育成というPTAの本来の趣旨を守られながら、また一方で、今の時代にあった活動や組織

を確立していただき、PTA活動の充実を図っていただければと思います。

今、伊原木知事は、岡山で力を込めて「教育県岡山の復活」を進めているところでございます。そのためには、学校、家庭、地域が、それぞれ責任を果たして、それが一体的に取り組むことが、とても重要だと考えております。今回の岡山大会のテーマは、先ほど、ご紹介ございましたが「集まれば ころはればれ 晴れの国」～「集まる」「話す」の大切さ再発見～であります。ここ岡山でPTA活動の実情や課題を話し合っただくこと、とても意義深いことだと思います。本大会を通して、学校、家庭、地域での教育力向上や連携に努められ、可能性あふれる子どもたちの健全育成に、一層のお力添えをお願いしたいと思います。

終わりになりますけれど、岡山大会のご成功、また、皆さま方のご活躍、ご健勝をご祈念申し上げて私のあいさつとさせていただきます。本日は、誠におめでとうございます。

祝 辞



倉敷市副市長

生水 哲男

皆様、おはようございます。ご紹介いただきました、倉敷市副市長の生水と申します。よろしくお願いたします。本来でございますれば、倉敷市の伊東市長が参りまして、皆様方に本大会のお祝いを申し上げるところでございますが、公務で出張しておりまして、私が代理で参りましたので、ご挨拶をさせていただきます。

第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会岡山大会が、ここ倉敷市で多くの皆様をお迎えして開催されますこと、心からお祝い申し上げます。

また、皆様方には、日頃からそれぞれの地域におかれまして、PTA活動を通して、高等学校教育の振興と高校生の健全育成に、ご尽力されておられますことに深く敬意を表する次第でございます。

さて、倉敷市では、「まちが形作られてきた背景には教育があり、同時に、教育はまちの未来を創る根幹である。」という教育の役割、また、「教育を後世にわたり充実させていくためには、地域を担う人財を地域の中で育成することが必要である。」という地方創生の観点等を勘案しまして、教育の目標や施策の根本的な方針となる教育大綱を策定し、「ひとづくり」という点を重視して、「倉敷の教育」を推進しているところでございます。

皆様方におかれましては、今回の岡山大会で実り多き時間を過ごしていただき、高等学校教育の振興と高校生の健全な育成のため、より充実した活動へ繋げていただければと思っております。

さて、5月のG7広島サミットに先立ちまして、4月22日、23日には、ここ倉敷で、この西にあります倉敷アイビースクエア、元々は倉敷紡績の工場跡をホテルとして改修したものでございますが、倉敷アイビースクエアを主会場とし、美観地区周辺で「G7倉敷労働雇用大臣会合」が開催され、「人への投資」を中心に議論がなされました。倉敷市の歴史と地域が持つ魅力を伝える取り組みや、地域の特色を生かしたおもてなしを行うなかで、市内の多くの高校生の方、県立高校、私立高校の方に活躍をしていただきました。

例えば、会合中のコーヒブレイクでの、茶道部の学生による呈茶によるおもてなしや、G7おもてなし英語講座を受講したボランティアによる地域の魅力説明、学生が育てたパンジーのプランターの設置、会合に先立って行われた地元主催の歓迎レセプションでは、倉敷市の繊維産業の歴史を伝えるファッションショーも行われました。また、日本で初めての労働者の安全・衛生・健康のための機関である「倉敷労働科学研究所」、現在では大原記念労働科学研究所といわれますが、そこが、当時の倉敷の紡績工場の労働者のために、主食の代用食、栄養があり簡単に食べられる食事として「倉敷労研饅頭」というものを開発しておりました。そのような労働雇用の歴史を高校生にも学習していただき、高校生の皆さんに開発してもらった現代版の主食代用食を、開催記念シンポジウムの中で発表していただきました。高校生の皆さんにG7の大切さ、倉敷での労働雇用の歴史等を学習していただき、将来に繋げるよう、いろいろとお手伝いいただきまして、会合も無事終了し、倉敷の魅力を世界に発信することができたのではないかと考えているところでございます。

倉敷市は、ジーンズをはじめとした児島地区の繊維製品や、水島コンビナートを中心としたものづくりのまちでありますと同時に、美観地区を中心とした歴史的な町並みや美術館などの文化施設、鷲羽山などの風光明媚な景勝地を有する、わが国有数の文化観光都市でございます。皆様方におかれましても、どうぞこの機会に倉敷の地を楽しんでいただければ幸いです。

結びに、本大会のご成功と、中国・四国地区高等学校PTA連合会の益々のご発展、そして本日お集まりの皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私からの歓迎のご挨拶とさせていただきます。本日は、大変おめでとうございます。

